

<受賞者各氏のコメント> (五十音順)

<河西 正彦氏>



このたび恩師、故萩三二先生の御名を冠した「萩三二賞」の受賞という栄誉を拝受し、感謝申し上げます。また受賞日は、本学創立 75周年という大きな節目の記念式典と重なり、喜びはひとしおであります。

私ごとになりますが、私は東海大学第二工学部機械工学科を社会人入学し、再度学園生活を得られた喜びのなかで学生生活に浸りました。1966年に修士課程を修了してから丁度今年は満 50年の節目となりました。人生に花をそえていただいた気持ちになります。

在学中は、初代総長ご自身のご講義、「現代文明論」で哲学を受講し、「建学の精神」では感動した青春をいただきました。恩師故萩三二先生からは、機械工学を、また学園活動を通じて幾度となく「汝の希望を星につなげ」とご指導をいただき、卒業後もお世話になりました。

このたびの受賞を機に、故萩三二先生が仰った「立派な社会人になれ」を強く胸に抱き、人生の指針として努力してまいります。ありがとうございました。

<藤田 征樹氏>



日立建機(株)の藤田征樹と申します。この度は萩三二賞を賜り大変光栄に思います。

私は 2007年に動力機械工学科を卒業、2009年に大学院機械工学研究科を修了しました。その後日立建機(株)に入社し、以降建設機械に関する技術開発に従事しております。大学在学中に両足膝下切断という障害を負いましたが、義足を使用してスポーツに挑戦し、在学中から今までに3度自転車競技でパラリンピックに出場いたしました。

活動に際し、東海大学機友会の皆様から、たくさんの温かいご支援ご声援を頂きました。これも萩三二先生が学園の基礎を築かれ、研究・教育を通じて大きな人の和を築かれたご功績があつてのことと感じております。

選手としても技術者としても道半ばの身分で身に余る賞を頂き、大変恐縮でございますが、萩先生のお名前に恥じぬ様に一層精進して参る所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻を賜れますと幸いです。

Tokyo2020まで 3年を切り皆様からたくさんのご注目を頂いております。選手として最大限に挑戦をし、皆様に楽しんでいただけます様努めますので、今後益々ご注目を頂けます様お願い申し上げます。この度は誠にありがとうございました。

<康井 義明氏>



第一回「萩三二賞」受賞、大変光栄です。東海大学機友会の皆様に感謝申し上げます。

私は東海大学で松前重義創立者の歴史観・世界観をはじめ人生思想に感銘を受けました。工学部機械工学科に昭和 38年に入学し、新キャンパス湘南校舎の最初の学生です。以来人生の多くの時間を東海大学とともに歩んできました。卒業後、大学院修士(萩三二研究室)そして博士課程(後藤武一研究室)で学び、機械系初の学位(工学博士)取得の時には、萩先生から、同窓諸氏からも温かいお祝いを受けました。

私は動力機械教員として在籍中、萩三二先生には恩師として私の人生観に種々多大の影響を受けました。先生は学生教育・研究・大学運営に真摯に情熱を傾けてこられました。私が大学院研究等に悩んだ際には萩先生からお誘いを受け、新宿駅で待ち合わせ、ボーリングを楽しみ遊んだことが思い出です。年始の先生宅での御馳走料理は感謝感激でした。

13年前に私はライフワークの青少年創造育成教育事業を実現、2005年の「町田市少年少女発明クラブ」創設会長として発明発見科学講座実践と知的財産権の発掘を試み、子供たちが特許権・実用新案権・意匠登録など取得、発明協会ものづくりコンテストでは内閣総理大臣賞、文科大臣賞、特許庁長官賞等を受賞。日本でトップランキングの発明クラブ(全国に現在 212クラブ)です。今後も東海大学機友会「萩三二賞」の未来伝承と発展を祈念いたします。

東海大学機友会の活動は、会員のみなさまからお納めいただいた貴重な会費によって賄われていますので、その会費納入にご協力ください。会費額は、第 13 回総会において、10 年分: 10,000 円 / 5 年分: 6,000 円 / 3 年分: 4,000 円に改訂されました。払込みは、以下の郵便振替口座をご活用ください。

払込みに際して、住所・氏名のほかに、卒業年度と何年分会費かをご明記ください。ご寄付の払込みもこの口座をご利用ください。

郵便振替口座番号: 00200-7-15017 / 加入者名: **東海大学機友会**